

6. シラバス

シラバスは授業計画書です。各授業科目の分類、担当者、授業の目的、学修・教育目標との対応、授業の概要、到達目標、評価方法、教科書・参考書等の情報を得ることができます。特に、到達目標は学修を通じて身に付けるべき知識・能力のことであり、その到達度をもって評価されるため、成績評価の基準と言えます。また、各回の予習・復習についても記載されており、学修効率の向上に役立てることができます。

□シラバス記載事項

科目名・科目の基本情報

各シラバスの冒頭部分に科目の基本情報を記載しています。授業科目区分（1～4群の区分および必修・選択・自由科目の区分）、担当教員（教員名、所属講座・研究室、連絡先等）を示しています。

授業の目的

カリキュラムにおける位置づけ、学問的な背景、学問・産業上の意義等を示しています。科目を学修する意義を考える上で重要です。

学修・教育目標との対応

本冊子に記載されている学修・教育目標（A～H）との対応を示しています（特に強く対応している項目には◎）。学修・教育目標の達成に役立ててください。

授業計画

毎回具体的な内容を示しています。教員は原則としてこの計画に沿って授業を進めますので、予習・復習に役立ててください。

学生の到達目標

学修を通じて学生が修得できる知識・能力を示しています。その到達度をもって成績評価が行われるため、目標を達成できるように努力してください。各到達目標と上記の学修・教育目標との対応をA～Hで示しています。

評価方法・評価基準・フィードバックの方法

成績がどのような方法・基準で評価されるかを示しています。また、フィードバックがどのように行われるかを示しています。

学修支援情報

授業方法、関連科目、履修上の注意点や履修する上で重要な事項等を記載しています。

教科書・参考書

履修する上で必要あるいは参考となる教科書・参考書を示しています。